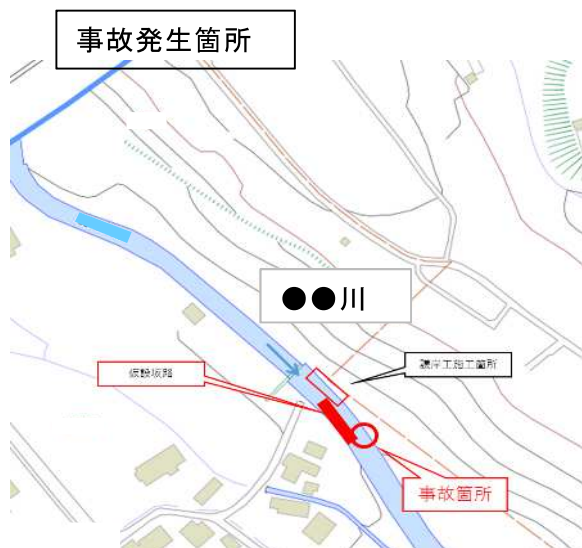


事故周知・再発防止〔令和4年度発生事例〕

災害の種類	物損事故	工事区分	河川工事(護岸工)
事故内容	重機の河道内への転落事故	被災者	性別・年齢
被災状況	バックホウ0.45㎡が河床へ転落		職業
<p>〔災害の概要〕</p> <p><input type="checkbox"/> 現場の状況： 護岸工事の現場作業完了後。</p> <p><input type="checkbox"/> 事故の概要：令和4年11月30日(水) 大雨による河川増水により仮設坂路・道路が崩壊。崩壊に伴い、仮設坂路上に置いたままにしていたバックホウ(0.45㎡)1台が河床へと転落した。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全対策の有無： 有：降雨を踏まえ、作業中止時に資材は河道の外に移動。 始業前に安全ミーティング、KY活動、現場内の安全巡視の実施。</p>			
<p>〔再発防止策〕</p> <p><input type="checkbox"/> 問題点： ① 大雨時に重機を河道内の仮設坂路上に置いたままにした。</p> <p><input type="checkbox"/> 防止対策： ① 終業時には、資機材を確実に河道の外に搬出する。 また、作業中でも注意報の発令など水位上昇が見込まれる場合は、作業を直ちに中止し、資機材を河道の外に搬出する。 ①-1 資機材を搬出する場所を施工計画書に明記する。 ①-2 終業時に、資機材が適切に搬出されているかを確認する。 ①-3 ハザードマップに記載し、資材流出の危険を作業員に周知する。</p>			
<p>〔事故の状況が分かる写真または図面〕</p> <p>事故発見時状況写真 11月30日(水)AM7:30</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			

事故周知・再発防止〔令和4年度発生事例〕

〔事故の状況が分かる写真または図面〕



発生日時 11月30日(水)午前3:00頃
 発生場所 ●●●●●●付近
 物損物 バックホウ0.45m³ 1台
 (その他被災者、護岸、施設被害 なし)

被災前(仮設坂路完成時)



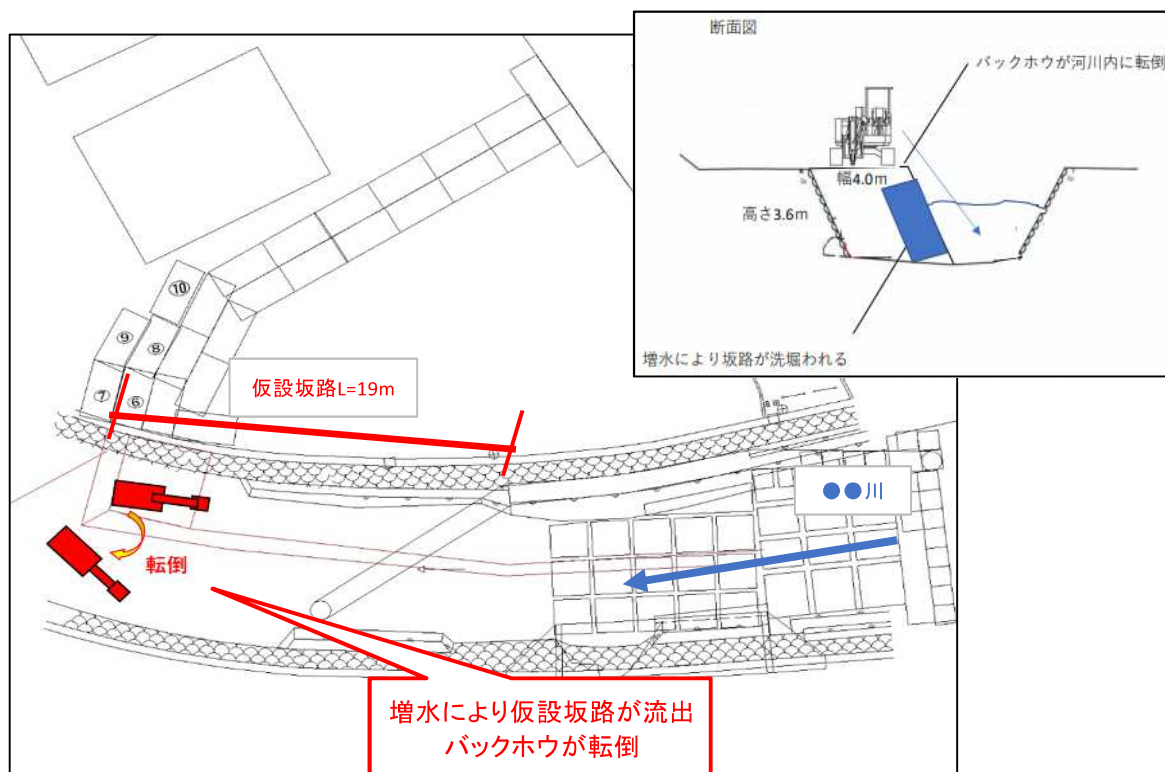
被災後(11月30日撮影)



事故発生状況

11月29日AM10:00 現場終了。仮設坂路にバックホウを置いて現場を離れる。

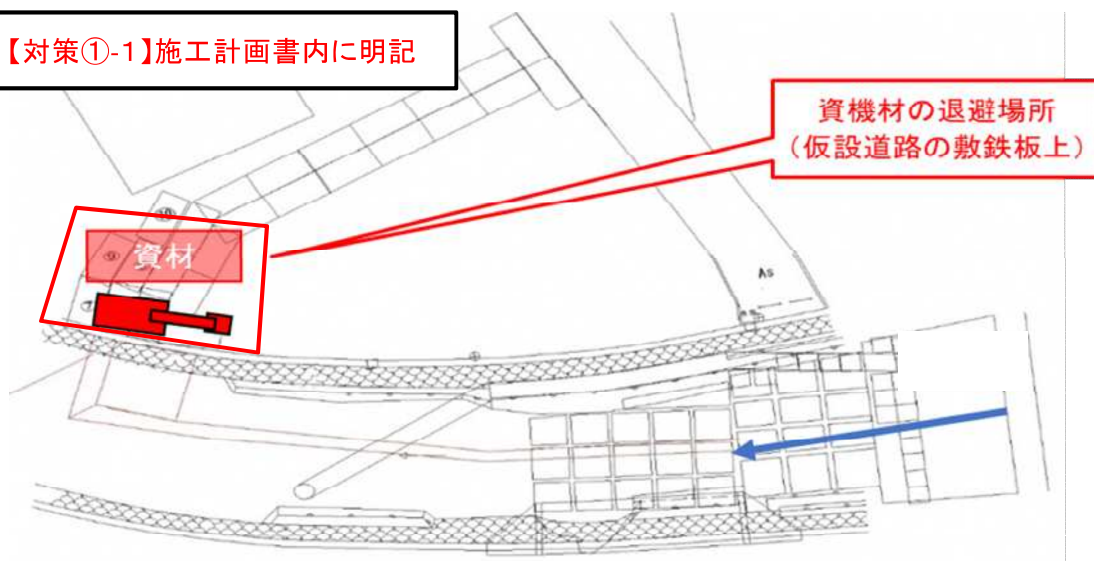
11月30日未明 大雨による増水で仮設坂路が損壊し、バックホウが転倒した。



事故周知・再発防止〔令和4年度発生事例〕

〔再発防止対策〕

【対策①-1】施工計画書内に明記



【対策①-2】施工計画書へ追記

災害防止重点目標

1) 工事現場周辺の危険防止と安全確保

1. 当工事は歩行者及び一般車両の通行のない区間での施工となるが出入口からの進入を防ぐため作業終了時はバリケードにより封鎖する。
2. 安全確保のため常に整理・整頓し現場内を安全な状態に保つ。
3. 歩行者など工事関係者以外の作業区域内への立ち入りを禁止とし、また日々の作業において危険箇所を放置せず適切な処置を施し作業終了とする。
4. 各種標識を掲げ、常に注意を喚起する。(例「足元注意」「立入禁止」「火気厳禁」等)
5. トラック等の出入口となる箇所については各関係機関と協議のうえ、標識・交通誘導員を配置し一般車両・歩行者との接触事故防止につとめる。
6. 騒音・振動を発生させる作業が有る場合は、地域への影響を防止するよう適切な対策を講じその施工にあたる。
7. 夜間または暗所での施工となる場合は、照明を設置し安全な状態で作業する。
8. 仮置場・資材置場はバリケード等により囲い、看板を設置し当工事において管理していることを明示する。
9. 降雨及び増水が予想される場合は、作業完了後に資機材を河道の外に搬出し、河川内に残ったままとなっていないかを確認する。

安全衛生管理行事計画

	行 事	内 容	実 施
日 常 計 画	安全朝礼	全員参加	8 : 00
	危険予知活動 (KYK)	業種別、グループごとに実施	8 : 05
	始業前点検	業種別、グループごとに実施	8 : 20
	工程及び安全打ち合わせ	翌日の作業内容、予知される危険と危険の 対策指示書の交付	12 : 50
	整理・整頓・跡片付け	作業終了前の跡片付け 河川内の資機材有無の確認(日報に記載)	16 : 40

河道内に資機材の取り残しがないかを確認することを追加

事故周知・再発防止〔令和4年度発生事例〕

[再発防止対策]

安全巡視日報実施記録

現場代理人	安全巡視員

月 日 曜日 天候

巡 視 時 間	8							9							10							11							12							13							14							15							16							17							18							19							20							21							22							23							24							1							2							3							4							5							6							7						
主 な 作 業 項 目																																																																																																																																																																								
作 業 の 急 所 と 安 全 上 の 諸 注 意																																																																																																																																																																								
安 全 点 検 結 果																																																																																																																																																																								
指 示 ・ 是 正 事 項																																																																																																																																																																								
作 業 終 了 時 確 認	<p style="color: red; font-size: small;">重機は護岸上にあるか： 資材は河川内に残っていないか： 場内の片付はされているか： 場内の安全施設は問題ないか：</p> <p style="color: red; font-size: small;">確認時刻 AM ・ PM ：</p>																																																																																																																																																																							
備	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; color: red; font-weight: bold; margin: 5px 0;"> 【対策①-2】 安全巡視日報に、河道の外に資機材を搬出できているか確認する項目を追加 </div>																																																																																																																																																																							

事故周知・再発防止〔令和4年度発生事例〕

〔再発防止対策〕

ハザードマップ(1工区)

⑦クレーン等の転倒
資材の積み替りし



①挟まれ・巻き込まれ
各工種作業機械使用時



②墜落・転落
仮設通路 護岸天端



③地下埋設物
周辺設置施設



【対策①-3】ハザードマップへ追記



⑧河川増水による
資機材の流出



⑥交通事故
通学路注意
一般道通行時



④架空線
電話線 電気線



⑤第三者立入
施工箇所隣接箇所



ハザードマップ: 予想される事故対策リスト

実施計画表

位置番号	【事故の種別】 予想される事故	左記の安全対策	対策における留意点
⑥	【交通事故】 作業箇所から一般路に出入りする際、一般車両、自転車、歩行者との接触事故。資機材運搬時の交通事故。	工事車両出入口に工事車両出入看板を設置し注意を促す。必要に応じ、交通誘導員配置	ドライバーの交通ルールの徹底。登下校時間帯の生徒に注意。一時停止・徐行の徹底
⑦	【クレーン等の転倒】 クレーン車の転倒	アウトリガーの全張り出し。軟弱地盤を確認した場合、置換や改良を速やかに行う。	重量に対する吊り上げ作業半径内にクレーンを設置するよう、よく検討する。
⑧	【増水による重機の流出】 河道内に資機材がある場合、増水時にこれらが流出する。	増水時に流出しないよう、資機材を河道内に置いたままにしない。	安全巡視日報などに確認結果を記録し、漏れがないようにする。

対策リストへ追記